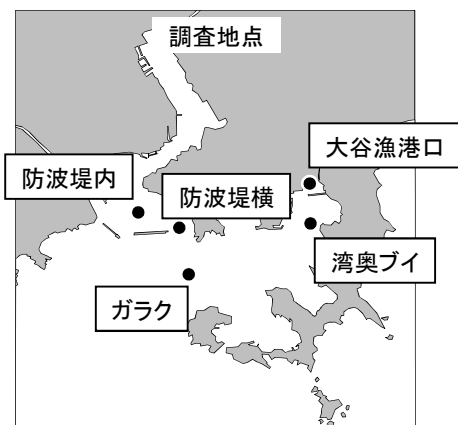


プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、野見湾のプランクトン調査を実施しましたので結果をお知らせします。
 検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高2cells/ml確認されました。今後の動向に注意が必要です。その他、有害種のディクチオカ属及びミリオネクタ・ルブラも少数確認されました。
 また、水質調査も実施しましたが、pHに異常は見られませんでした。
 海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

地点	水深	プランクトン				水質
		コクロディニウム・ポリクリコイデス	ディクチオカ・スペキュルム	ミリオネクタ・ルブラ	アカシオ・サンガイネア	pH
大谷漁港口	0m	0	0	1	1	8.3(正常)
	2m	0	0	1	0	8.3(正常)
	5m	0	0	0	3	8.4(正常)
湾奥ブイ	0m	0	1	0	1	8.4(正常)
	2m	0	3	0	1	8.4(正常)
	5m	2	5	0	3	8.4(正常)
ガラク	0m	0	0	0	2	8.4(正常)
	2m	0	0	0	1	8.4(正常)
	5m	0	1	0	0	8.4(正常)
防波堤内側	0m	0	1	0	0	8.4(正常)
	2m	0	0	0	3	8.4(正常)
	5m	0	1	0	0	8.4(正常)
防波堤横(東側)	3m	0	1	1	1	8.4(正常)
	10m	0	0	1	0	8.4(正常)



漁業被害が想定される細胞密度

- ・コクロディニウム・ポリクリコイデス
数百～1,000cells/ml(へい死)
- ・ディクチオカ属:
赤潮発生時(へい死)
- ・ミリオネクタ・ルブラ:
10cells/ml(貝類の赤変化)